

学籍番号 _____

氏名 _____

■卒業時の到達度レベル

I : 単独で実施できる II : 指導のもとで実施できる III : 学内演習で実施できる IV : 知識としてわかる

●評価レベル

説明: 説明ができる 見学: 見学をした 経験: 指導者とともに実施した 実施: 指導者のもとで単独で実施した

★記入方法 1. 各技術項目は説明・見学・経験・実施のレベルで評価する。

2. 3年次の各領域での実習時に各技術項目がどのレベルで習得できているのかを評価した日付を記入する。

3. 評価の記入後は担当教員の確認を得る。

4. 最終評価は、卒業時の到達度レベル(I~IV)に到達しているかどうか○または×で評価する。

	技術の種類	基礎実習終了後				領域実習終了後				統合実習終了後				卒業時の到達度	最終評価		
		説明	見学	経験	実施	説明	見学	経験	実施	説明	見学	経験	実施				
7	褥瘡管理技術	73	看護師・教員の指導のもとで、患者の創傷の観察ができる												II		
		74	学生間で基本的な包帯法が実施できる													III	
		75	創傷処置に用いられる代表的な消毒薬の特徴がわかる													IV	
8	与薬の技術	76	看護師・教員の指導のもとで、経口薬(パッカル錠・内服薬・舌下錠)の服薬後の観察ができる												II		
		77	看護師・教員の指導のもとで、経皮・外用薬の投与前後の観察ができる												II		
		78	看護師・教員の指導のもとで、直腸内与薬の投与前後の観察ができる												II		
		79	看護師・教員の指導のもとで、点滴静脈内注射を受けている患者の観察点がわかる												II		
		80	モデル人形に直腸内与薬が実施できる												III		
		81	学内演習で点滴静脈内注射の輸液管理ができる												III		
		82	モデル人形または学生間で皮下注射が実施できる												III		
		83	モデル人形または学生間で筋肉内注射が実施できる												III		
		84	モデル人形に点滴静脈内注射ができる												III		
		85	学内演習で輸液ポンプの基本的な操作ができる												III		
		86	経口薬の種類と服用方法がわかる												IV		
		87	経皮・外用薬の与薬方法がわかる												IV		
		88	中心静脈内栄養を受けている患者の観察点がわかる												IV		
		89	皮下注射後の観察点がわかる												IV		
		90	皮下注射後の観察点がわかる												IV		
		91	筋肉内注射後の観察点がわかる												IV		
		92	静脈注射の実施方法がわかる												IV		
93	薬理作用をふまえて静脈内注射の危険性がわかる												IV				
94	静脈内注射実施中の異常な状態がわかる												IV				
95	抗生物質を投与されている患者の観察点がわかる												IV				
96	インシュリン製剤の種類に応じた投与方法がわかる												IV				
97	インシュリン製剤を投与されている患者の観察点がわかる												IV				
98	麻薬を投与されている患者の観察点がわかる												IV				
99	薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤を含む)方法がわかる												IV				
100	輸血が生体に及ぼす影響をふまえ、輸血前・中・後の観察点がわかる												IV				
9	救命救急処置技術	101	緊急なことが生じた場合にはチームメンバーへの応援要請ができる											I			
		102	看護師・教員の指導のもとで、患者の意識状態を観察できる											II			
		103	モデル人形で気道確保が正しくできる											III			
		104	モデル人形で人工呼吸が正しくできる											III			
		105	モデル人形で閉鎖式心マッサージが正しくできる											III			
		106	除細動の原理がわかりモデル人形にAEDを用いて正しく実施できる											III			
		107	意識レベルの把握方法がわかる											IV			
		108	止血法の原理がわかる											IV			
10	機能管理・生体	109	バイタルサインが正確に測定できる										I				
		110	正確に身体計測ができる										I				
		111	患者の一般状態の変化に気付くことができる											I			

